

門火焚き 昔日の念に 想い馳せ 我此処に 嘯ぶ感涙 善巧方便 	山粧う 日々の旅路を 通るれば 朝日に照らされ 照紅葉かな あおち。 	秋高し 天空に飛ぶ カワセミが 春愁秋思を 思わせられるな ともさま 	初秋に 幽邃な場で 目に入る 楓や紅葉の 野山の錦だ ともたか 	早朝に ほのかに香る 秋の花 山吹色の 木犀花かな とも 
われここに いるとむせ ぶかんなるい	あさひにて らされてり もみじかな	しゅんしゅんし ゆうしをおもわ せられるな	かえでやもみ じののやまの にしきだ	やまぶきいろ のもくせい かな